

3:7 また、フィラデルフィアにある教会の御使いに書き送れ。『聖なる方、真実な方、ダビデの鍵を持っている方、彼が開くと、だれも閉じることがなく、彼が閉じると、だれも開くことがない。その方がこう言われる――

3:8 わたしはあなたの行いを知っている。見よ。わたしは、だれも閉じることができない門を、あなたの前に開いておいた。あなたには少しばかりの力があって、わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。

3:9 見よ。サタンの会衆に属する者、すなわち、ユダヤ人だと自称しているが、実はそうではなく、嘘を言っている者たちに、わたしはこうする。見よ。彼らをあなたの足もとに來させてひれ伏させ、わたしがあなたを愛していることを知らせる。

3:10 あなたは忍耐についてのわたしのことばを守ったので、地上に住む者たちを試みるために全世界に來ようとしている試練の時には、わたしもあなたを守る。

3:11 わたしはすぐに来る。あなたは、自分の冠をだれにも奪われないように、持っているものをしっかり保ちなさい。

3:12 わたしは、勝利を得る者を、わたしの神の神殿の柱とする。彼はもはや決して外に出て行くことはない。わたしは彼の上に、わたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち、わたしの神のもとを出て天から下って來る新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを書き記す。

3:13 耳のある者は、御霊が諸教会に告げるこ

とを聞きなさい。』

フィラデルフィアの教会が褒められることは、主イエスの名を否まなかったということです。恐らく迫害や困難があったでしょうが、主への信仰を守り続けたのです。また「わたしのことばを守り」とありますから、みことばに忠実であったのでしょう。

そのような者はまた教会は、主から主から信任され、門が開かれます。すなわち働きや前進の大きな可能性が与えられるのです。主のみことばに従い続けましょう。

「サタンの会衆に属する者」というのが、迫害や困難の元凶かもしれません。主は彼らを「ひれ伏させ」と言っておられます。また試練のときには「守ろう」と約束してくださいます。

これから後に起こる永遠の御国に至るできごとを、心に現実的に受け止めつつ、「耳のある者」となりましょう。主のことばを通して語らえることに対して、耳が機能しないままとならないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

